

# ことしの村のしごと

## ～令和6年度予算概要～



the most beautiful  
villages in japan

赤井川村

## 目次

1	令和6年度の赤井川村の予算総額	1	ページ
2	一般会計の内訳（歳入）	2	ページ
3	一般会計の内訳（歳出）	3	ページ
4	一般会計節別予算	4	ページ
5	科目別の主な事業の内容	5	ページ
(1)	議会費	5	ページ
(2)	総務費	5	ページ
(3)	民生費	7	ページ
(4)	衛生費	9	ページ
(5)	農林水産業費	10	ページ
(6)	商工費	12	ページ
(7)	土木費	13	ページ
(8)	消防費	14	ページ
(9)	教育費	14	ページ
(10)	公債費	16	ページ
(11)	予備費	16	ページ
6	特別会計の状況	16	ページ
7	公営企業会計の状況	17	ページ
8	その他	17	ページ
9	令和4年度決算で見る赤井川村の財政状況	18	ページ

# 令和6年度の赤井川村一般会計予算総額は、 28億6,900万円です。

令和6年度赤井川村予算が3月6日(水)に招集された村議会第1回定例会において可決されました。

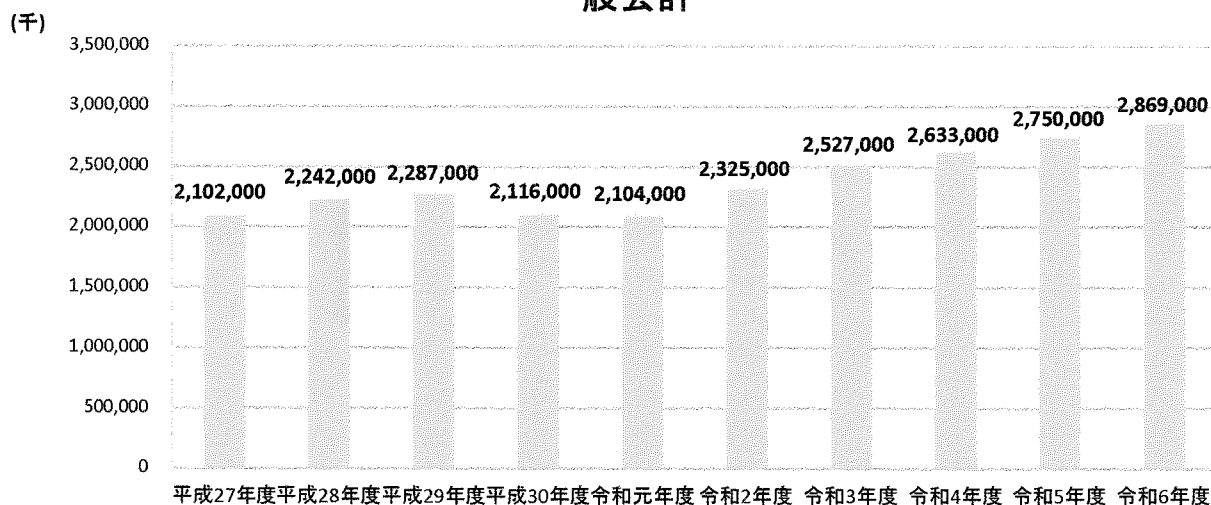
一般会計の歳入歳出総額は28億6,900万円で、消防車両購入に伴う負担金等により、前年当初予算に比べ1億1,900万円の増額となっております。

今後も財政的には厳しい状態が続くと予想されることから、内部執行経費の縮減に努め村政運営をしてまいります。新年度各会計予算額は以下のとおりです。

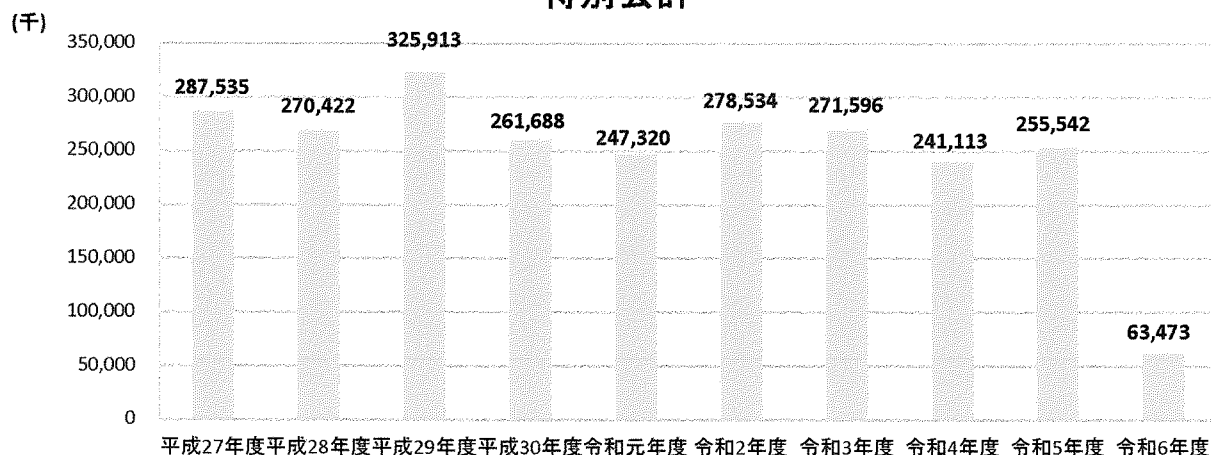
## ○各会計の予算額

会 計	本年度予算額	前年度予算額
一般会計	28億6,900万0千円	27億5,000万0千円
後期高齢者医療特別会計	2,018万2千円	1,898万1千円
国民健康保険特別会計	4,329万1千円	4,387万0千円
簡易水道事業会計	1億810万9千円	8,793万6千円
下水道事業会計	1億9,027万6千円	1億475万5千円

## 一般会計



## 特別会計



※令和6年度より簡易水道事業・下水道事業は、公営企業法適用により公営企業会計へ移行するため、上記のグラフ集計値からは除いています。

# 一般会計の内訳(歳入)

歳入合計 28億6,900万円

地方交付税	村債	村税	寄附金	その他
37.2%	15.0%	11.3%	10.5%	26.0%

(単位:千円、%)

款	本年度予算	割合	前年度予算額	比較	
				増減	比率
1 村税	323,001	11.3	340,893	△ 17,892	94.8
2 地方譲与税	47,652	1.7	44,218	3,434	107.8
3 利子割交付金	40	0.0	63	△ 23	63.5
4 配当割交付金	300	0.0	300	0	100.0
5 株式等譲渡所得割交付金	270	0.0	320	△ 50	84.4
6 法人事業税交付金	2,470	0.1	2,426	44	101.8
7 地方消費税交付金	29,000	1.0	27,000	2,000	107.4
8 自動車税環境性能割交付金	3,700	0.1	3,000	700	123.3
9 地方特例交付金	300	0.0	300	0	100.0
10 地方交付税	1,067,000	37.2	1,075,000	△ 8,000	99.3
11 交通安全対策特別交付金	1	0.0	1	0	100.0
12 分担金及び負担金	7,352	0.3	6,736	616	109.1
13 使用料及び手数料	35,865	1.3	32,438	3,427	110.6
14 国庫支出金	297,484	10.4	305,919	△ 8,435	97.2
15 道支出金	86,606	3.0	95,519	△ 8,913	90.7
16 財産収入	9,725	0.2	9,689	36	100.4
17 寄附金	300,102	10.5	300,102	0	100.0
18 繰入金	132,114	4.6	118,168	13,946	111.8
19 繰越金	30,000	1.0	30,000	0	100.0
20 諸収入	66,028	2.3	67,608	△ 1,580	97.7
21 村債	429,990	15.0	290,300	139,690	148.1
合計	2,869,000	100.0	2,750,000	119,000	104.3

## 主な増減要因

- 国庫支出金 : 温泉熱利用設備導入工事終了に伴うエネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金等の減額です。
- 道支出金 : 環境保全型農業直接支援対策事業、新規就農者育成総合対策事業等に伴う道補助金の減額です。
- 村債 : 消防車両購入及び道路・橋梁工事に伴う増額です。

# 一般会計の内訳(歳出)

歳出合計 28億6,900万円

土木費	総務費	民生費	衛生費	消防費	その他
18.0%	15.0%	13.7%	11.9%	9.9%	31.5%

(単位:千円、%)

款	本年度予算額	割合	前年度予算額	比較	
				増減	比率
1 議会費	47,494	1.7	48,321	△ 827	98.3
2 総務費	430,777	15.0	691,804	△ 261,027	62.3
3 民生費	392,960	13.7	350,134	42,826	112.2
4 衛生費	342,126	11.9	344,558	△ 2,432	99.3
5 農林水産業費	177,835	6.2	176,612	1,223	100.7
6 商工費	225,182	7.8	170,178	55,004	132.3
7 土木費	514,633	17.9	361,394	153,239	142.4
8 消防費	283,757	9.9	160,111	123,646	177.2
9 教育費	209,719	7.3	201,417	8,302	104.1
10 公債費	242,913	8.5	242,962	△ 49	100.0
11 予備費	1,604	0.1	2,509	△ 905	63.9
合計	2,869,000	100.0	2,750,000	119,000	104.3

村民1人当たり(令和6年2月末現在)

納める村税額 23万4千円

使われるお金 207万6千円

村税の内訳

村民税 5,293万4千円

固定資産税 2億5,724万9千円

軽自動車税 433万6千円

村たばこ税 431万5千円

入湯税 416万7千円

合計 3億2,300万1千円

主な増減要因

○総務費:ふるさと納税経費が商工費へ移動したことによる減額です。

○土木費:道路改良工事、橋梁補修工事等及び小公園管理費の移動に伴う増額です。

○消防費:消防車両購入に伴う北後志消防組合への負担金の増額です。

用語の解説

◎地方交付税一村の財政状況に応じて国から交付されるお金です。

◎村債一国や銀行から借り入れるお金です。

◎公債費一村債(借入金)を返したり、借り入れに伴う利子を払うお金です。

※住民の数は2月末現在の人口1,382人で計算(千円未満は四捨五入)しています。

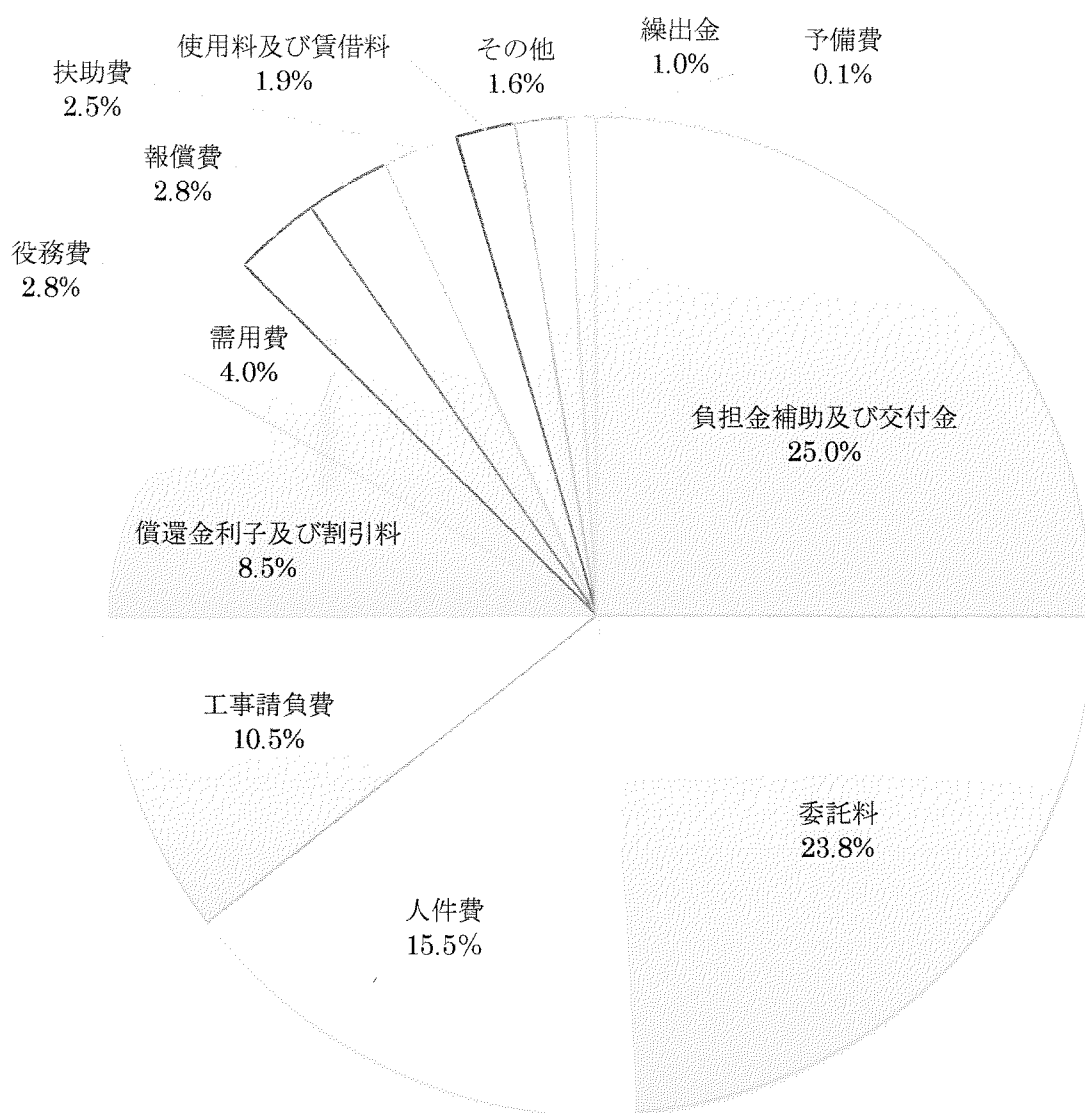
# 一般会計節別予算

ここでは、一般会計の内どんな費用がどのくらい占めているのかをあらわしています。

令和6年度予算の特徴として大きく増額となったものは、北後志衛生施設組合の処理施設改修に伴う下水道広域化推進事業や北しりべし広域クリーンセンター基幹的設備改修工事、北後志消防組合での消防車両購入などによる「負担金補助及び交付金」、富田線・北丸山線道路改良工事などによる「工事請負費」。一方で大きく減額となったものは、ふるさと納税関連経費などによる「報償費」となっています。

また、「その他」の欄には「旅費」「交際費」「原材料費」「公有財産購入費」「備品購入費」「補償補填及び賠償金」「積立金」「公課費」が含まれています。

### 令和6年度節別予算



※人件費内訳：職員給与・会計年度任用職員報酬・議員報酬

次のページからは、令和6年度に赤井川村が実施する主な事業の内容をお知らせいたします。地方自治体の財政運営は毎年厳しい状況が続いていますが、今後も、「住みよく、うるおいのあるむらづくり」に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

# 議会費

予算額 4,749万4千円

(村民1人当たり3万4千円)

議員報酬や研修旅費など議会活動に使われる費用です。

○議員報酬 1,995万6千円(前年度比+31万5千円)

・村議会議員8名の報酬です。

○議員期末手当 860万7千円(前年度比+52万5千円)

・村議会議員8名の期末手当です。

○議員研修旅費 52万8千円(前年度比-117万5千円)

・村議会議員の研修視察に係る費用です。

○会議録作成業務委託料 129万4千円(前年度と同額)

・村議会の議事録を作成するための費用です。

○議員共済会負担金 534万5千円(前年度比-52万9千円)

・市町村議会議員共済年金を廃止することにより必要な一時金等を支払うための費用です。

# 総務費

予算額 4億3,077万7千円

(村民1人当たり31万2千円)

庁舎・集会施設管理や公共交通、交通安全対策、税金・戸籍に関わる事務などに使われる費用です。

○区会長謝金 52万5千円(前年度と同額)

・区会長15名の報償費です。

○赤井川村むらバス運行業務委託料 1,845万3千円(前年度比+37万6千円)

・令和4年4月から運行を開始した赤井川村むらバスに係る費用です。

○赤井川村地域公共交通活性化協議会補助金 49万5千円(前年度比-5千円)

・地域公共交通計画の推進、進行管理を行うための費用です。

○区会交付金 108万円(前年度と同額)

・区会の活動等に対する交付金です。15区会に交付しています。

○文書費 442万円(前年度比-4万8千円)

・村条例、規則等例規集の追録や条例・規則等の作成支援、国や道の法律・条例等業務に必要な法令集の追録にかかる費用です。

※主な費用—法制執務支援委託業務99万円、一般法令集追録代91万2千円など

- 広報費** 213万6千円（前年度比 -13万6千円）
- ・村広報誌の「広報あかいがわ」を月1回（年12回）発行し、むらづくり情報などを提供します。
  - ※主な費用－印刷製本費188万8千円など
- 財産管理費** 626万7千円（前年度比 -192万6千円）
- ・村有地の維持管理並びに村有地におけるさくら・もみじ基金事業などに使われる費用です。
  - ※主な費用－公会計作成支援業務委託料55万円、さくら・もみじ基金事業費505万2千円など
- 財政調整基金費** 709万9千円（前年度比 +9万1千円）
- ・各種基金等への積み立てを行っています。
  - ※主な費用－備荒資金組合超過納付金653万8千円、公共施設整備基金利子積立金55万8千円など
- 地域安全対策費** 249万9千円（前年度比 +32万7千円）
- ・交通安全推進員、交通安全指導員の報酬、交通安全協会や防犯協会の運営助成など地域の安全対策に使われる費用です。
  - ※主な費用－交通安全灯電気料99万6千円、街路灯設置事業補助金15万9千円、交通安全協会運営事業補助金6万円など
- 企画費** 1億4,574万1千円（前年度比 -4,734万5千円）
- ★**再生可能エネルギー事業費**（1億1,037万3千円／主な費用－委託料1億1,009万1千円など）
  - 太陽光発電、地中熱利用による役場庁舎等のエネルギー構造高度化システム詳細設計、木質バイオマスを活用した農業用ハウスへの加温システム検討、農業用ダムにおける小水力発電調査等を実施します。
  - ★**情報通信費**（1,276万3千円／主な費用－委託料516万円など）
  - 国、都道府県、市町村をネットワークで結び、行政事務の効率化を図る総合行政ネットワークに必要な機器類の保守管理及びネットワークの強靱化に向けた更新業務を行います。
  - ★**「日本で最も美しい村」連合費**（86万8千円／主な費用－負担金45万2千円など）
  - 赤井川村が加盟している「日本で最も美しい村」連合の活動に使われる費用です。
- 庁舎管理費** 944万円（前年度比 -299万4千円）
- ・役場庁舎の維持管理を行う費用です。
  - ※主な費用－光熱水費540万1千円、委託料146万9千円、修繕費40万円など
- 集会施設管理費** 1,574万4千円（前年度比 +666万8千円）
- ・落合住民センター、都住民センター、山村活性化支援センター、コミュニティセンター、旧都保育所などの維持管理に必要な費用です。
  - ※主な費用－施設管理委託料156万円、山村活性化支援センター指定管理料560万円、光熱水費110万9千円など
- 徴税费** 1,256万3千円（前年度比 +101万9千円）
- ・税務係が賦課徴収を行う税金（村民税、固定資産税、軽自動車税など）事務を円滑に行うための費用です。
  - ※主な費用－委託料596万3千円、システム使用料495万円など

○戸籍住民基本台帳費 2,501万6千円（前年度比 +127万3千円）

- ・住民基本台帳事務に係るネットワークシステムの維持管理費用や戸籍事務を円滑に行うための費用です。

※主な費用－社会保障・税番号制度システム整備業務委託料 364万1千円、総合行政システム標準化対応業務委託料（新規）279万8千円、戸籍システムソフト使用料等 1,170万9千円など

○選挙費 96万6千円（前年比 -820万4千円）

- ・村で行われる各種選挙が公正かつ円滑に行われるよう管理している選挙管理委員会の運営にかかる費用です。

※主な費用－委員報酬 65万円、選挙管理システム使用料 26万4千円など

○統計調査費 16万5千円（前年度比 -4千円）

- ・村内で行われる各種統計調査を円滑に行うための費用です。本年度実施が予定されている統計調査は、学校基本調査、経済センサス調査、農林業センサス調査等です。

※主な費用－統計調査員等報酬 7万7千円、消耗品費等 7万4千円、負担金 5千円など

○監査委員費 128万4千円（前年度比 +32万1千円）

- ・村の会計が適正に行われているかどうかをチェックし、行政運営の公正の確保を目的に行われている各種監査にかかる費用です。

※主な費用－監査委員報酬 70万円など

# 民生費

みんせいひ

予算額 3億9,296万円

（村民1人当たり28万4千円）

子どもや高齢者の方などの福祉に使われる費用です。

○赤井川村地域おこし協力隊員活動推進支援事業費 501万4千円

- ・村民の社会参加、通院や買い物に必要な交通手段サービス等、地域福祉の充実を図ることを目的に、地域おこし協力隊員の活動経費にかかる費用です。

※主な費用－赤井川村地域おこし協力隊員活動推進支援業務委託料 501万4千円

○社会福祉・民生委員費 99万円（前年度と同額）

- ・村民の社会福祉の増進を図るため、国・道・村から委嘱を受けている社会福祉・民生委員の活動に対する費用です。（民生委員6名、主任児童委員2名）

※主な費用－委員報酬 4万7千円、民生委員児童委員協議会交付金 84万1千円など

○社会福祉協議会運営事業補助金 1,537万6千円（前年度比 +1万3千円）

- ・社会福祉の充実向上のため活動している社会福祉法人赤井川村社会福祉協議会の運営に対し助成します。

※主な費用－補助金 1,537万6千円

○障害者福祉費 4,140万7千円（前年度比 +50万4千円）

- ・身体障がい者の日常生活用具や補装具の給付、福祉施設入所の措置費などを助成します。

※主な費用－介護給付費・訓練等給付費 3,480万円、補装具給付費 20万円、自立支援医療費 60万円など

○老人福祉費 1,506万9千円（前年度比 -13万1千円）

- ・村の老人福祉の充実、向上を目指し、以下の事業を行っています。
  - ☆緊急通報システム事業（28万2千円／主な費用－システム委託料21万6千円、電話架設料6万6千円）  
概ね65歳以上の単身のお年寄りの方などに、緊急通報用の電話機、ペンダント型発信機を設置し、24時間体制でけがや病気などの緊急時に対応できるようにします。
  - ☆高齢者地域ケア推進事業（9千円／主な費用－電話サービス委託料9千円）  
社会福祉協議会に事業の運営を委託し、概ね65歳以上のお年寄りの方に、電話による安否確認や相談などを行います。
  - ☆高齢者除雪支援事業（200万円／主な費用－在宅高齢者除雪支援助成金200万円）  
65歳以上の方のみで構成され一定の要件を満たした世帯に対し、除雪費用の8割（上限10万円）を助成する事業です。
  - ☆敬老年金（746万円／主な費用－敬老年金746万円）  
高齢者の長寿をお祝いするため、毎年70歳以上の方々に敬老年金を贈呈します。（敬老年金の額－70歳以上2万円、75歳以上2万5千円、80歳以上3万円）
- ・養護老人ホームに入所する高齢者に対する措置費です。
  - ☆老人福祉施設入所者措置費（189万9千円／主な費用－入所者措置費189万9千円）
  - ☆福祉パスポート利用者入館料補償金（210万円／主な費用－福祉パスポート利用者入館料補償金210万円）  
65歳以上の高齢者の赤井川温泉無料化に伴う事業費です。

○敬老会費 67万5千円（前年度比 +4万7千円）

- ・毎年、長寿をお祝いする敬老会開催にかかる費用です。  
※主な費用－食糧費40万4千円、印刷製本費6万1千円など

○重度心身障害者並びにひとり親家庭等医療費 158万6千円（前年度比 -10万1千円）

- ・重度心身障害者及びひとり親家庭等の親と児童の保健の向上に資するとともに、福祉の増進を図ることを目的に、医療費の助成を行っています。（重度－入通院、ひとり親の子－入通院、ひとり親－入院のみ）  
※主な費用－医療費147万5千円、請求事務手数料等4万8千円など

○後期高齢者医療費 2,323万4千円（前年度比 -14万7千円）

- ・後期高齢者医療の保険者は道内全ての市町村で構成する北海道後期高齢者医療広域連合です。この広域連合の運営経費及び村の医療費負担分が計上されています。  
※主な費用－後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金1,413万7千円、特別会計繰出金909万7千円

○介護保険事業費 1億326万5千円（前年度比 +3,438万7千円）

- ・令和2年度より居宅介護支援事業の運営を赤井川村社会福祉協議会が担っていることから、その経費に対する補助金を計上しているほか、令和4年度よりデイサービスセンターにおける施設利用サービスの向上や業務の効率化を図ることを目的として指定管理者制度を導入したため、施設の管理費用等をデイサービスセンター費に計上しています。これに伴い、村の介護保険サービス事業特別会計が廃止されました。  
※主な費用－後志広域連合負担金2,950万1千円、居宅介護支援事業補助金703万5千円、デイサービスセンター指定管理料3,114万6千円、デイサービスセンター外装改修工事（新規）3,408万9千円など

○地域支援事業費 4,891万2千円（前年度比 +110万7千円）

- ・介護保険事業の介護予防事業等に係る予算となっています。（日常生活支援総合事業、包括支援事業等）

※主な費用－日常生活支援総合事業委託料26万8千円、地域包括支援センター運営業務委託料等3,471万6千円、高齢者世話付住宅援助員派遣事業委託料397万1千円、小樽・北しりべし成年後見センター負担金31万1千円 など

○乳幼児医療費 304万7千円（前年度比 +19万6千円）

- ・北海道の事業として行っている乳幼児医療費助成制度で、就学前までの医療費助成のほか、村独自の制度として平成27年7月より小学生～中学生の医療費の助成を行っています。

※主な費用－就学前医療費90万3千円、小・中学生医療費(村拡大助成分)200万8千円 など

○保育所運営費 2,025万3千円（前年度比 +201万8千円）

- ・赤井川へき地保育所の運営及び村外保育所等の利用に係る費用です。令和元年10月より国の施策として3才以上の幼児に係る利用料は無償化されました。赤井川へき地保育所を利用する2才児については、引き続き、村の独自施策として無償化しています。

※主な費用－広域入所委託料1,081万1千円、施設型給付費480万円 など

○児童措置費 1,269万円（前年度比 +126万円）

- ・高校生までの児童・生徒に対し支給される児童手当に関する費用です。

※主な費用－児童手当1,170万円、児童手当システム改修業務委託料99万円など

# 衛生費

えいせいひ

予算額 3億4,212万6千円

（村民1人当たり24万8千円）

病気の予防対策や各種健診、ごみ収集など保健と衛生に使われる費用です。

○母子保健相談指導事業費 158万2千円（前年度比 -33万6千円）

- ・乳児、1歳6ヶ月、3歳児のお子さんの成長を確認し、また育児の様々な不安や疑問に対する相談や指導を行っています。

※主な費用－栄養相談料9万円、医師診察料9万円、育児相談料3万5千円、妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援料18万円、北後志母子通園センター事業運営負担金35万9千円、出産・子育て応援給付金50万円など

○ふれあい健康まつり実行委員会補助金 15万円（前年度と同額）

- ・ふれあい健康まつり実行委員会への補助金です。

※主な費用－補助金15万円

○保健推進員協議会補助金 50万円（前年度と同額）

- ・住民の健康の保持、増進及び疾病の早期発見、早期治療を目的とした保健推進活動をしていただいている保健推進員協議会の活動に対し助成します。また、地区の健康づくり、体力づくり事業にも助成しています。

※主な費用－補助金50万円

○予防費 853万5千円（前年度比 -641万9千円）

- ・疾病の早期発見や生活習慣病の予防にかかる費用です。また、児童及び高齢者の予防接種にかかる費用も含まれます。

※主な費用－基本健診・各種がん検診委託料 429万2千円、予防接種委託料 260万円、など

○墓地・火葬場費 690万7千円（前年度比 +9万4千円）

- ・火葬場の管理委託料や赤井川・都・常盤墓地の維持にかかる費用です。

※主な費用－管理委託料 489万5千円、光熱水費 61万1千円など

○廃棄物処理費 1億3,464万3千円（前年度比 -558万8千円）

- ・一般廃棄物最終処分場の管理やごみの収集業務及び、し尿処理にかかる費用です。可燃（燃やせる）ごみは北しりべし廃棄物処理広域連合の焼却施設で処理しています。

※主な費用－一般廃棄物最終処分場管理委託料 2,090万円、一般廃棄物・資源リサイクル収集委託料等 2,580万6千円、北後志衛生施設組合負担金 855万2千円、北しりべし廃棄物処理広域連合負担金 1,414万5千円、下水道広域化推進総合事業構成町村負担金 5,925万3千円など

○狂犬病予防費 6万3千円（前年度比 +6千円）

- ・畜犬の登録や狂犬病予防にかかる費用です。

※主な費用－予防注射事務委託料 1万7千円、印刷製本費 3万1千円など

○診療所費 2,904万9千円（前年度比 +4万8千円）

- ・赤井川診療所の運営にかかる維持管理費です。

※主な費用－管理委託料 2,280万円、光熱水費 104万7千円、医療機器リース料 63万6千円、整形診療医師謝金 60万円など

○健康支援センター費 851万6千円（前年度比 +10万8千円）

- ・健康支援センターの維持管理にかかる費用です。

※主な費用－光熱水費 238万7千円、設備点検委託料等 162万4千円など

# 農 林 水 産 業 費

のうりんすいさんぎょうひ

予算額 1億7,783万5千円

（村民1人当たり12万9千円）

農林業の振興や農業委員会の活動にかかる費用です。

○農業委員会費 691万円（前年度比 +193万7千円）

- ・主に農地の所有権移転や賃貸借・使用貸借権等の設定の許可を行う農業委員会が優良農地の保全や活用が効率的に図られるよう協議・調整するとともに、新規就農者や後継者支援等担い手対策活動を進める経費と農業者年金事務にかかる費用です。

※主な費用－農業委員報酬 250万円、旅費 190万3千円、農業委員会サポートシステム台帳データ照合業務（新規）50万6千円、農業者年金受託事業費 10万1千円など

- 農業振興対策費（村単独事業）** 1,283万円（前年度比 -157万8千円）
- ・農業農村活動の活性化をめざし、以下の事業に支援を行っています。
  - ☆**交配用蜜蜂導入事業補助金**（94万3千円）  
メロン、南瓜等の花粉交配作業の省力化を図るため、蜂箱借り上げ料に対し支援します。
  - ☆**土づくり対策事業補助金**（800万円）  
各生産者が堆肥を確保し、継続的に土づくりが行えるよう支援します。
  - ☆**新規就農支援事業補助金**（18万4千円）  
新規就農者の安定的な農業経営を支援するため条例に基づく農地の賃借料、借入金利息について助成します。
  - ☆**農業団体・部会活動支援事業補助金**（20万円）  
本村農作物の品質・技術向上や販路拡大を推進するため、農業団体・部会に対して活動費用の助成を行います。
  - ☆**農泊推進対策事業補助金**（30万円）  
農泊推進対策協議会が行う農泊の推進や運営を行うための費用です。
  - ☆**営農実習支援助成金**（60万円）  
新規就農研修受入農家に対し、営農実習支援として助成金を交付します。
- 環境保全型農業直接支援対策事業費** 415万8千円（前年度比 -14万5千円）
- ・化学肥料、化学合成農薬を原則5割以上低減する取り組みと併せて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動を支援するための費用です。
  - ※主な費用－環境保全型農業直接支援対策事業補助金404万8千円など
- 農業次世代人材投資事業費** 1,990万円（前年度比 -300万円）
- ・新たに経営を開始する方及び就農後の経営発展のために、設備や施設等の導入の取り組みに対して支援するための費用です。
  - ※主な費用－新規就農者育成総合対策事業補助金1,687万5千円、農業次世代人材投資事業補助金300万円など
- 新規就農等促進施設管理費** 35万9千円（前年度比 -1千円）
- ・就農希望者のほか短期農業体験（移住希望者含む）並びに期間限定の農作業従事者等にも対応する環境を令和4年度に整備し、その施設を維持管理するための費用です。
  - ※主な費用－インターネット回線通信費9万円、建物災害共済保険料1万4千円など
- 畜産業費** 30万1千円（前年度比 +1万円）
- ・畜産農家の肥育環境の改善と防疫活動の円滑化を図るための費用です。
  - ※主な費用－みなみ北海道農業共済組合後志家畜診療センター運営事業補助金14万4千円、家畜防疫対策事業補助金6万円、乳質改善事業補助金6万5千円など
- 農地費** 3,176万3千円（前年度比 +428万1千円）
- ・主に農作物の生産基盤を改善するためにかかる事業経費です。
  - ☆**畑地かんがい実態調査事業費**（72万円／主な費用－需用費55万2千円など）
  - ☆**多面的機能支払交付金事業費**（399万7千円／主な費用－資源保全隊に対する交付金393万3千円など）
  - ☆**小規模土地改良事業費**（240万8千円／主な費用－用水路用地測量調査業務委託料150万円など）
  - ☆**水利施設等保全高度化事業費**（2,463万8千円／主な費用－赤井川地区事業負担金2,380万円など）  
北海道が事業主体となって実施する農地基盤整備事業です。今年度において、調査設計業務・農地基盤整備工事を実施します。

- 農業振興センター管理費 1,046万3千円（前年度比 -94万6千円）
  - ・野菜や花き苗の育成や農作業の受託及び新規就農希望者研修等により農業経営を支援しています。令和6年度より、苗代は事業者に直接助成します。
  - ※主な費用－苗購入事業補助金785万円、管理委託料84万5千円、新規就農支援及び畑かん調査事業補助金100万円など
- 地籍調査成果管理費 132万6千円（前年度比 -193万3千円）
  - ・地籍調査後の地番、面積、境界等を適正に管理するため、数値の電算管理を行っています。
  - ※主な費用－地籍成果管理事業委託料87万8千円など
- 水利施設管理費 1,744万3千円（前年度比 -479万円）
  - ・落合ダム、畑かん用水路を管理するための費用です。
  - ※主な費用－各種設備保守点検委託料等836万2千円など
- 林業振興費 1,826万7千円（前年度比 +614万8千円）
  - ・森林整備計画に基づき、村有林の整備及び計画的に実施される民有林の造林に対し支援するとともに、今後の計画的森林整備のための調査等へ支援を行います。今年度も民有林及び村有林の造林（3.5ha/前年度比△5.5ha）が予定されています。
  - ※主な費用－野ねずみ生息予察調査委託料14万5千円、村有林造林工事407万円、森林環境譲与税活用事業補助金45万円、豊かな森づくり推進事業補助金312万円、森林管理計画意向調査委託料101万9千円など
- 有害鳥獣駆除費 503万5千円（前年度比 -25万4千円）
  - ・鳥獣による農作物等被害対策や駆除を行う費用です。
  - ※主な費用－有害鳥獣駆除隊員報酬50万円、狩猟免許等取得者人材育成補助金22万2千円、村鳥獣害防止対策協議会負担金210万円、被害防止機材等購入補助金180万円、普通旅費6万1千円など
- 地域おこし協力隊員活動費 154万5千円（前年度比 -9万1千円）
  - ・有害鳥獣駆除業務に従事する地域おこし協力隊員の活動等に必要な費用です。
  - ※主な費用－消耗品費18万円、研修及び活動負担金48万円など

# しょうこうひ 商工費

予算額 2億2,518万2千円  
 （村民1人当たり16万3千円）  
 商工業の振興や観光事業、ふるさと納税のために使われる費用です。

- 商工労働費 871万5千円（前年度比 -32万8千円）
  - ・村商工会の運営・村産物の販売促進に対する支援にかかる費用です。
  - ※主な費用－商工会運営費補助金700万円、特産品開発支援事業補助金60万円など
- ふるさと納税経費 1億3,150万6千円（前年度比 -7,660万1千円）
  - ・平成28年度から開始したふるさと納税に係る必要な費用です。（令和6年度より総務費から移行しています。）
  - ※主な費用－ふるさと納税返礼品代(送料含む)7,500万円、手数料（募集代行、システム管理費用）5,262万6千円など

- 地域おこし協力隊員活動経費 167万4千円（前年度比 -62万円）
  - ・ふるさと納税の受付、PR、地域の情報・魅力を発信する地域おこし協力隊員の活動等に必要な費用です。（令和6年度より総務費から移行しています。）
  - ※主な費用－普通旅費12万円、車両リース料26万4千円、研修受講負担金6万円など
- 観光費 4,152万9千円（前年度比 +131万6千円）
  - ・村観光協会の活動支援や村の観光振興を推進する費用です。
  - ※主な費用－観光地域づくり法人(DMO)補助金60万円、ウィンターフェスティバル&シーニックナイト補助金30万円、まるっとカルデラ農村フェス補助金300万円、道の駅あかいがわ指定管理料3,119万2千円など
- 保養センター費 3,167万7千円（前年度比 -4,172万8千円）
  - ・赤井川温泉（保養センター）の維持管理にかかる費用です。
  - ※主な費用－指定管理料1,334万円、保養センター屋上防水改修工事(新規)666万6千円、カルデラ温泉家具購入費(新規)723万6千円など

# 土木費

予算額 5億1,463万3千円

（村民1人当たり37万2千円）  
道路や河川などの維持整備、公営住宅の建設及び各住宅の維持補修、小公園の管理に使われる費用です。

- 道路維持費 1億3,662万円（前年度比 +986万9千円）
  - ☆道路維持修繕費（3,995万9千円／主な費用－村道維持整備工事867万8千円、村道草刈・維持管理作業委託料2,555万円、花いっぱい運動参加用花購入費85万円など）  
赤井川市街地や高原道路など約134.0kmの村道の草刈業務や舗装、サイドラインの補修、側溝清掃などを行います。
  - ☆除圧雪費（9,651万1千円／主な費用－村道等除雪業務9,400万円、雪上車保管料(新規)14万円、冬期用資材95万5千円など）  
村道（59路線、延長約55.1km）や公共施設など（29箇所）の除雪を行います。
- 道路新設改良費 1億1,310万4千円（前年度比 +5,250万2千円）
  - ☆富田線道路改良工事（継続）  
延長96m 幅員4.0m  
※主な費用－工事請負費4,000万円など
  - ☆北丸山線道路改良工事（継続）  
延長100m 幅員4.0m  
※主な費用－工事設計委託料(測量含)1,600万円、工事請負費3,800万円など
- 橋梁維持費 6,300万5千円（前年度比 +2,732万9千円）
  - ・村が管理する橋梁の維持及び補修にかかる費用です。
  - ※主な費用－橋梁補修工事6,300万円など
- 河川費 2,964万4千円（前年度比 +500万4千円）
  - ・村が管理する河川の維持にかかる費用です。
  - ※主な費用－河川整備工事2,654万円など

○都市計画費 5,120万8千円（当初予算 新規）

☆景観形成推進費（733万3千円／主な費用－景観計画策定業務委託料680万9千円、景観計画策定委員会委員謝金49万5千円など）  
景観法に基づく景観計画を策定する費用です。

☆小公園管理費（4,387万5千円／主な費用－管理業務委託料・指定委託料3,792万円、みやこ公園管理用ペレットストーブ購入費（新規）63万5千円など）  
カルデラ公園、みやこ公園、都運動公園、栗林公園、さくらの森公園などの維持管理にかかる費用です。（令和6年度より商工費から移行しています。）

○住宅管理費 1億1,670万7千円（前年度比 +465万8千円）

・村が管理する村営住宅や村有住宅の建設及び維持管理、移住・定住支援事業、合併浄化槽設置補助金、入居者選考委員会にかかる費用です。

※主な費用－村営中央団地個別改善内部改修工事1,430万円、村営中央団地個別改善共用部改修工事30,800万円、村営桜団地個別改善改修工事968万円、移住・定住支援事業補助金600万円、合併浄化槽設置補助金60万円など

# しょうぼうひ 消 防 費

予算額 2億8,375万7千円

（村民1人当たり20万5千円）

災害防止や救急業務のために使われる費用です。

○北後志消防組合負担金 2億7,762万1千円（前年度比 +1億2,328万3千円）

・火災の防止や救急時の搬送等の活動をしている北後志消防組合の運営にかかる費用です。

※主な費用－負担金2億7,762万1千円（うち消防車両購入費1億2,958万8千円（新規））

○災害対策費 613万6千円（前年度比 +36万3千円）

・一般災害の防止や、原子力防災対策など災害時の情報提供を目的に設置されている防災行政無線の維持管理や備蓄用品購入のための費用です。

※主な費用－防災行政無線保守点検業務委託料125万4千円、防災資機材等購入費193万円、北後志広域防災連携負担金2万2千円など

# きょういくひ 教 育 費

予算額 2億971万9千円

（村民1人当たり15万2千円）

学校教育のほか社会教育などに使われる費用です。

○教育委員会費 118万3千円（前年度と同額）

・教育委員の報酬や旅費などの費用です。

※主な費用－教育委員報酬90万円、旅費等12万5千円など

- 高校生就学支援助成金 432 万円（前年対比 +48 万円）
  - ・赤井川中学校を卒業した高校生の保護者（村内在住者に限る）に対し、経済的負担軽減のため就学に要する費用を助成します。
  - ※主な費用－助成金 432 万円
  
- 小学校管理費 2,556 万 6 千円（前年度比 +220 万 2 千円）
  - ・赤小と都小の維持管理にかかる費用です。
  - ※主な費用－委託料 868 万 1 千円、光熱水費 490 万円、赤小受電設備更新工事 221 万 1 千円（新規）など
  
- 小学校教育振興費 941 万 2 千円（前年度比 +467 万 9 千円）
  - ・赤小と都小で使用する教材や備品等を購入する費用です。
  - ※主な費用－教授用消耗品等 678 万 4 千円、備品購入費 90 万 4 千円など
  
- 中学校管理費 1,381 万 8 千円（前年度比 +121 万 1 千円）
  - ・赤中の維持管理にかかる費用です。
  - ※主な費用－委託料 509 万 4 千円、光熱水費 222 万 3 千円など
  
- 中学校教育振興費 2,042 万円（前年度比 -124 万 7 千円）
  - ・赤中で使用する教材や備品のほか、スクールバスの運行にかかる費用です。
  - ※主な費用－スクールバス運行委託料 713 万 7 千円、備品購入費 69 万 6 千円、外国語指導業務（ALT）委託料 592 万 7 千円、中学校体育連盟道・全国大会参加補助金 40 万円など
  
- 社会教育総務費 1,734 万 1 千円（前年度比 +23 万 9 千円）
  - ☆村社会教育団体運営事業補助金（62 万円／主な費用－カルデラ太鼓保存会補助金 50 万円、連合PTA補助金 12 万円）
    - 連合PTA、カルデラ太鼓保存会の活動に対し助成しています。
  - ☆国際交流推進事業費（933 万円／主な費用－国際交流推進委員会運営事業補助金 76 万 2 千円、海外研修事業補助金 856 万 8 千円）
    - 外国人留学生との国際交流の推進や中学生の海外研修に対し助成しています。
  
- 放課後子ども教室費 163 万 7 千円（前年度比 -2 万 4 千円）
  - ・放課後子ども教室の人件費を除く運営にかかる費用です。
  - ※主な費用－消耗品費 12 万円、送迎委託料 119 万円など
  
- 社会教育施設費 890 万 6 千円（前年度比 +19 万 5 千円）
  - ・生活改善センターと郷土資料館の維持管理にかかる費用です。
  - ※主な費用－管理委託料 583 万円など
  
- ジュニアクロスカントリースキー大会事業補助金 50 万円（前年度比 -5 万円）
  - ・毎年実施されているジュニアクロスカントリースキー大会の運営にかかる費用を助成しています。
  - ※主な費用－補助金 50 万円
  
- 村体育団体活動補助金 27 万円（前年度比 -3 万円）
  - ・村内で活動している各種体育団体に対し助成しています。（6 団体に各 4 万 5 千円）
  - ※主な費用－補助金 27 万円（パークゴルフ協会 4 万 5 千円、スポーツ少年団 4 万 5 千円など）

○体育施設費 2,408万8千円（前年度比 +475万円）

- ・村内の体育施設（プール、体育館、山村広場）の維持管理にかかる費用です。  
※主な費用－管理委託料915万2千円、光熱水費480万8千円など

○学校給食費 2,568万7千円（前年度比 -92万3千円）

- ・村内小中学校の学校給食委託にかかる費用や村の独自施策として、平成27年7月より開始している小・中学校の給食費の無償化に要する費用です。  
※主な費用－学校給食業務負担金2,075万9千円、児童生徒給食費負担金(村負担分)385万2千円など

## 公債費

予算額 2億4,291万3千円  
（村民1人当たり17万6千円）  
村が借りたお金の返済や利子の支払い  
に使われる費用です。

○公債費 2億4,291万3千円（前年度比 -4万9千円）

- ・村が借りたお金の返済や利子の支払いを行います。昨年度よりも償還金は減少しています。  
※主な費用－元金償還2億3,555万円、利子償還736万3千円

## 予備費

予算額 160万4千円  
（村民1人当たり1千円）

○予備費 160万4千円（前年度比 -90万5千円）

- ・予算成立後において歳出に計上された予算に不足が生じたり、災害などの予見し難い費用の不足に充てるための費用です。

## とくべつかいけいのじょうきょう 特別会計の状況

後期高齢者医療特別会計 2,018万2千円  
前年比 +120万1千円（村民1人当たり1万5千円）

国民健康保険特別会計 4,329万1千円  
前年比 -57万9千円（村民1人当たり3万1千円）

# 公 営 企 業 会 計 の 状 況

簡易水道事業会計 1億810万9千円  
前年比 +2,017万3千円 (村民1人当たり7万8千円)

下水道事業会計 1億9,027万6千円  
前年比 +8,552万1千円 (村民1人当たり13万8千円)

※令和6年度より、簡易水道事業及び下水道事業は公営企業法適用により、公営企業会計へ変更となります。

## その他

### ○繰り越して行う事業等

・令和5年度の補正により予算計上を行いました。特別な事情により年度内に事業等の完了が見込めない下記の事業について、予算を令和6年度に繰り越して実施することになっています。

#### 【一般会計】

- ☆社会保障・税番号制度(戸籍情報)システム改修業務
- ☆下水道広域化推進総合事業構成町村負担金
- ☆担い手確保・経営強化支援事業負担金
- ☆施設園芸生産基盤緊急支援事業補助金
- ☆カルデラ温泉既存熱源設備等改修工事
- ☆カルデラ温泉インバーター設置工事
- ☆村営中央団地外部個別改善改修工事

#### 【下水道事業会計】※継続費として令和6年度予算へ計上済

- ☆あかいがわアクリンセンター水処理設備負担金

### ○ふるさと納税は、皆さんの暮らしに活用しています

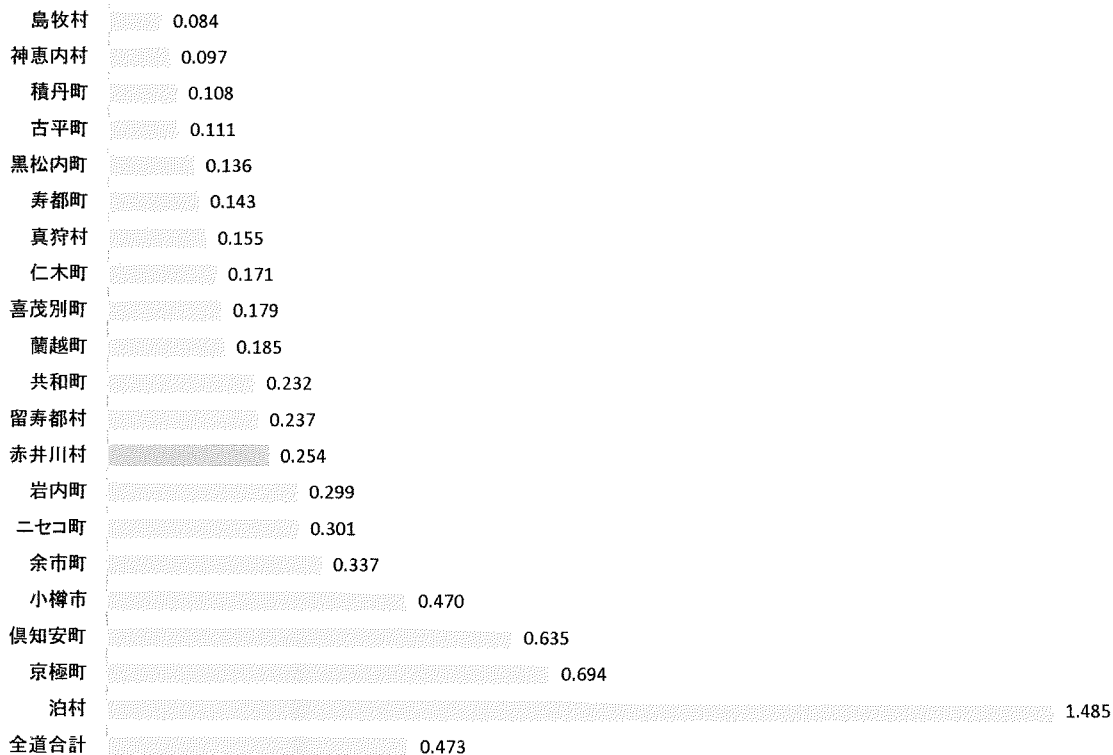
・全国各地より、赤井川村への応援として「ふるさと納税」による寄付が寄せられています。令和3年度は4.4億円、令和4年度は3.0億円と減少になりましたが、このふるさと納税は、赤井川村の“まち”“ひと”“しごと”に関わる事業をはじめ、皆さんの暮らしに様々なかたちで活用している貴重な財源となっています。

## 令和4年度決算で見る赤井川村の財政状況

北海道市町村の普通会計決算の概要が公表されました。ここでは、後志管内の市町村と比較して、赤井川村がどのような財政状況にあるのかをお知らせします。引用:「北海道HP」・「後志振興局HP」

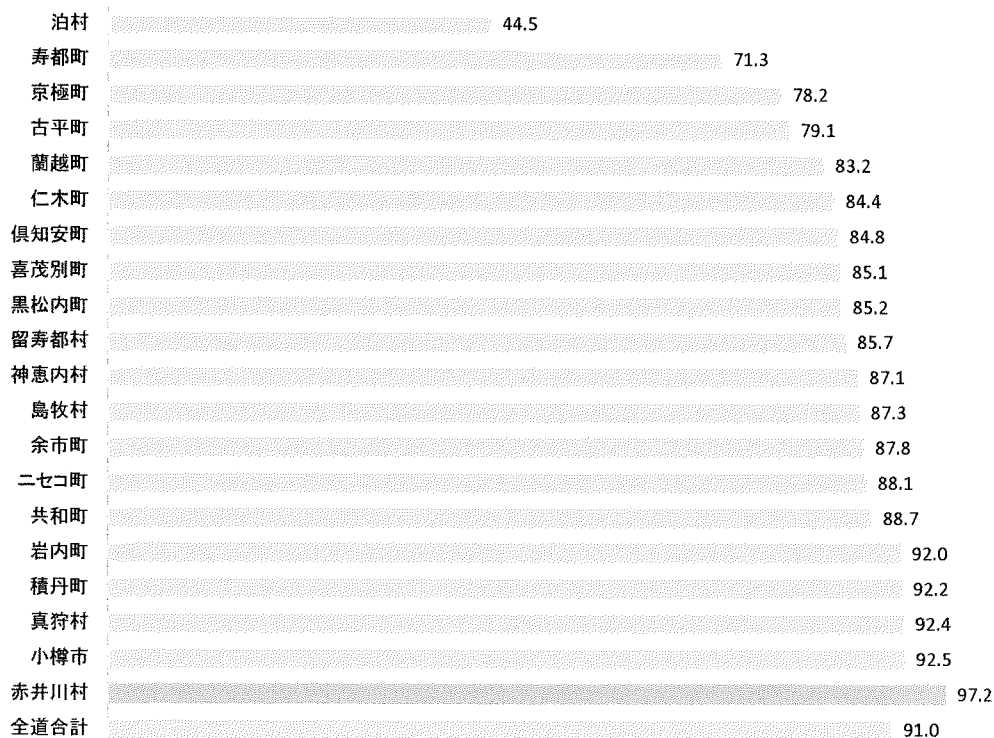
### 財政力指数

人口や面積などで標準的にかかるお金に対し、自主的な収入（税金など）がどのくらいあるのかを示す目安です。「1.00」だと100%自分たちのお金で市町村財政を運営できることになります。（赤井川村は0.254で管内で8番目に高い）



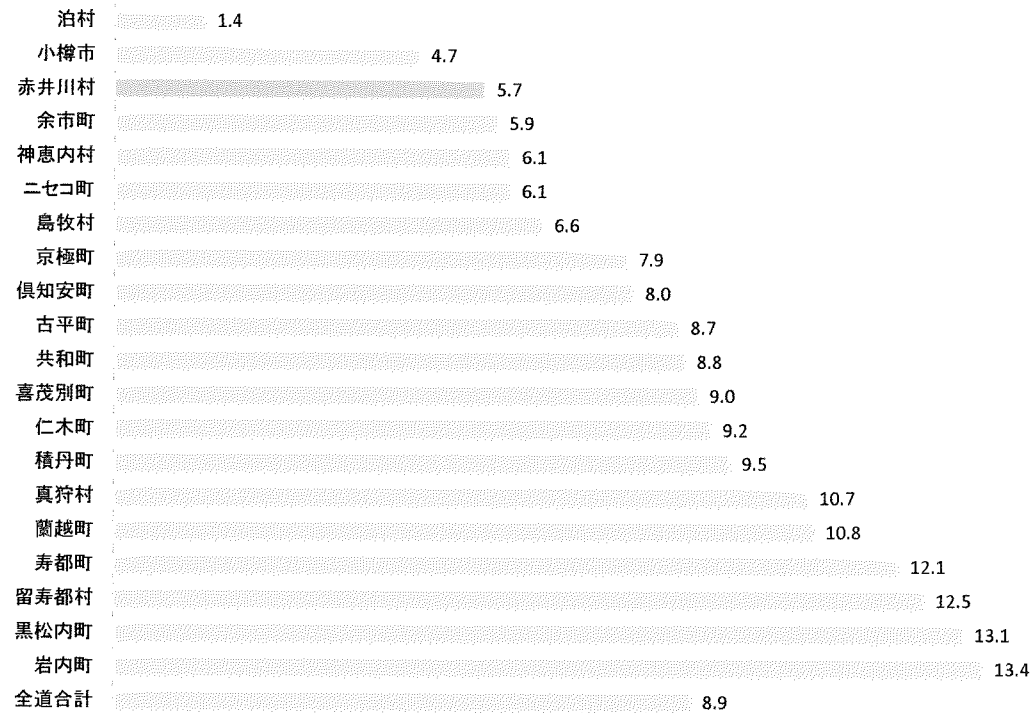
### 経常収支比率

村税など毎年決まって入ってくる経常的な収入が、人件費など毎年決まって出ていく経常的な経費に、どの程度あてられているかを示す比率で、低いほど自由に使えるお金があります。（赤井川村は97.2で管内で1番目に高い）



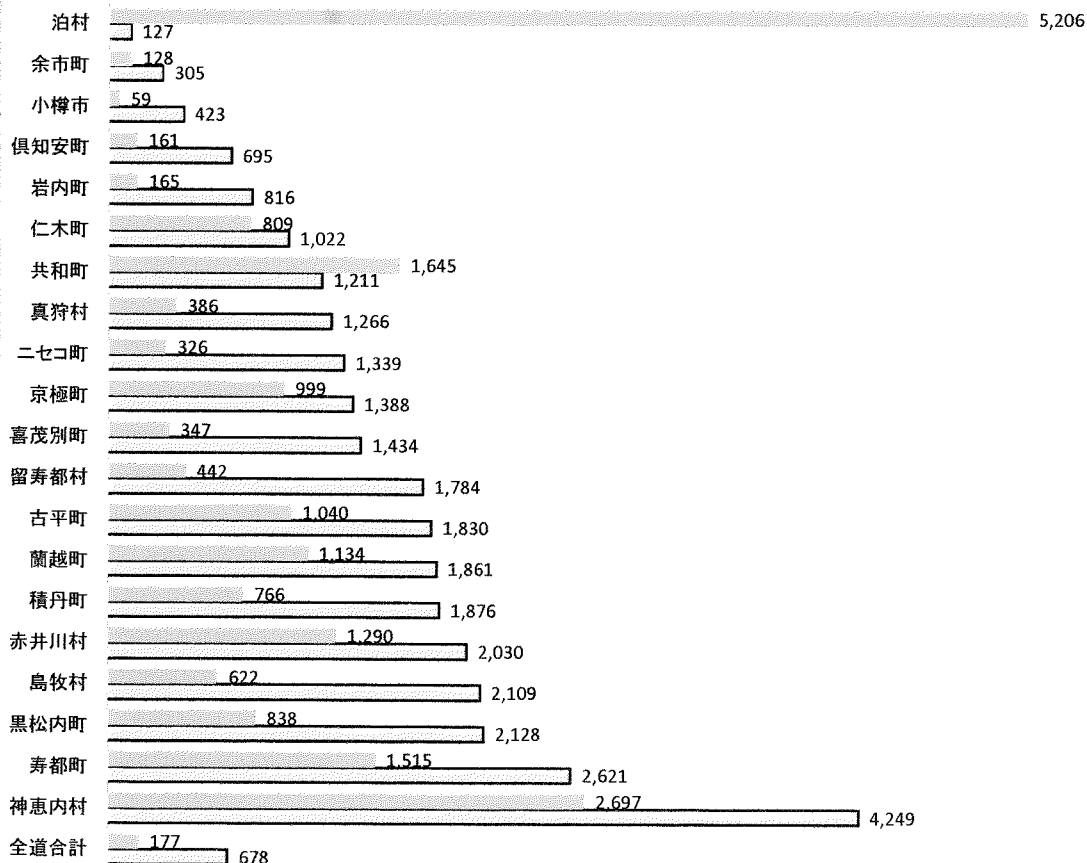
### 実質公債費比率

地方債を借り入れする場合の指標で、一般会計のほか簡易水道や下水道など公営企業の支払う元利償還金への一般会計からの繰出金などを算入することで連結決算の考え方を導入し、この比率が高くなると一定の制限を受けることとなります。(赤井川村は5.7で管内で3番目に低い)



### 地方債と積立金残高

人口1人当たりの借金(地方債)と貯金(積立金)の金額です。(赤井川村は地方債が2,030千円で管内で5番目に高く、積立金は、1,290千円と管内で5番目に高い)



※上段が貯金(積立金)、下段が借金(地方債)です(単位は千円)